

■■■図工室だより■■■

図画工作科
松宮

2年生から6年生のみなさんにおいて、自宅でできる「図工の時間」をつくりました。
それぞれの学年でできるはんでチャレンジしてみましょう。

「水さい絵の具」編

3年生は、「教科書3・4上」の
P50, 51をさんこうにしよう。

◇絵の具のこん色◇

絵の具は、さまざまな色を自分で作りだすことができます。

<水の りょうで こさを かえる>

同じ色でも、水のりょうをかえてちがうこさにするだけでもいんしょうがかわります。

<色と 色を まぜ合わせる>

2～3色ていどの絵の具を1色ずつまぜながら色のへんかを見ていくようにします。

◇ふでについて◇

ふでは力のかげんでかける線の太さがかわり、ふで先を生かして、細い線や太い線、面ぬりまでちがった表現ができます。また、動かすスピードをかえることで、さまざまなふでのタッチがうまれます。

<いろいろな 表し方>

てんてん、くるくる、シュッ!、ペタペタ、サーー、、、

(それぞれの学年の教科書で絵の具を使った題材をさんこうにしてみましょう)

◇ためしてみよう◇

画用紙に絵の具を使ってすきなもようや絵をかいてみましょう。(画用紙は文ぼう具店や100円ショップなどで入手できます 何枚かじゅんびすると、たくさんためすことができます)

◇道具のかくにん◇

つかった道具をかたづけましょう。

<チェックポイント>

- ・絵の具 (少なくなったら、ほじゅうしておきましょう)
- ・ふで (水でよくあらい、ほ先をととのえましょう)
- ・パレット・ひっせんバケツ (ていねいにあらい、水分をふきとってからしまいましょう)
- ・ぞうきんタオル (よくあらい、かわかしてからしまいましょう)



図工かんれん動画サイトです。学習のさんこうに活用してください。

NHK for school

「キミなら何つくる？」(第一回 えがこう!感じてフラワー)